

## 音のほころび UNTIED SOUND

池田 慎 + 野营地 IKEDA Shin + YAEICHI

2021 年 05 月 19 日 (水) — 05 月 29 日 (土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜 (日・月・火曜休廊)

| 展示作品 | インスタレーション (ミクストメディア) / 池田 慎  
パフォーマンス / 野营地

池田慎は、カップ麺の容器など身の回りにある日用品に刺繍をしたり、浣腸薬でシャンデリアをつくったり、用途の想定を超えた使い方で、ありふれたものに新たな属性を見出す作品を制作しています。

野营地は複数人で構成され、息や声、口笛など、身体を使ったパフォーマンスを用いてアート・音楽にまたがる活動をしています。今春には「塩見允枝子 | Performances & Visual Works 2021 in Kobe」を主催しました。

この2つの個性が出会うところで、何が生まれ、起こるのか？ 展覧会の行方は、幕を開けるまで誰にもわかりません。「ほどく」という行為によって変化していくキネティックアートを音と共に楽しみ下さい。

+1art

野  
营  
地

YAEICHI



国立国際美術館「開館40周年記念展」パフォーマンスのため集まったメンバーが中心となり、ひとりではできないパフォーマンスを行うために2018年生まれた集団。現在は19名の多様な活動を行っているメンバーにより構成されている。

2021年「塩見允枝子 Performances & Visual Works 2021 Kobe」開催。

本展の参加者 (以下5名) : 倉本 高弘、高橋 真理子、野村 美貴子、増野 敦子、森 すみれ



野营地は形態を持たない。常に流動している。さまざまな分野でそれぞれの専門を持つ。それぞれのベクトルは、それぞれ違う方向を志向しているように見えるが、時としてそれは一つの点のように集まる。または、向き合い、交差し、すれ違う。

今回はそんな座標の中で、池田氏がどのような方向を目指すのか、また野营地はどう動くのか、今はまだ誰も知らない。

野营地

池  
田  
慎

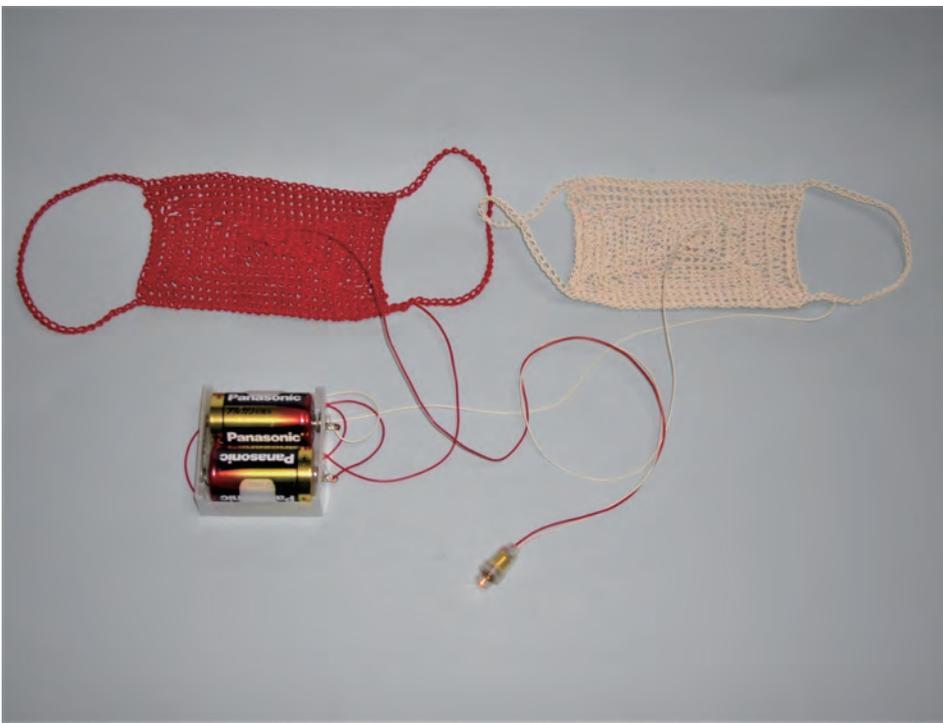
IKEDA Shin

つねづね自重で潰れたり摩耗したりで消える作品が作れないか、と考えていました。

なかなか良いアイデアが浮かばず制作に至らなかったのですが、今回の作品は素材に還元するという形で、わたしの痕跡はほぼ消えそうです。音は持続し消えてゆきます。声に乗せた言葉も消えてゆきます。今、声を出し音をあげようと思います。

時に不和を意味する「ほころび」には和解や笑顔の意味もあります。

池田 慎



《マスク》 2021 ミクストメディア

- 1974 大阪生まれ。大阪在住。
- 1998 大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒業

## 個展

- 2020 あしたの品々×日用品の詩学もちもち (へその丘美術館 /大阪)  
テレストリアルポップ展 (西脇市岡之山美術館アトリエ /兵庫県西脇市)
- 2019 手芸の時間 奈良・町家の芸術祭はならあと2018 (吉野町上市六軒屋敷 /奈良県吉野町)  
ふわふわガバメント トウキョウ (noie.cc/QuantumGallery&Studio /東京)  
ふわふわガバメント オオサカ (海月文庫 /大阪)  
アートの扉III 池田慎ーあしたの品々×日用品の詩学ー (西脇市岡之山美術館 /兵庫県西脇市)
- 2017 新作のない展覧会 Galerie Tzigane /大阪)  
2011 NOOO KITY /大阪)
- 2016 烏賊と鯛とハイビジョン (studio J /大阪)
- 2015 ふわふわガバメント (2kw58 /大阪)
- 2014 トロフィー (2 kw58 /大阪)  
スイッチ (ギャラリーかのこ /大阪)
- 2013 春の旧作まつり (2 kw58 /大阪)  
日々のだわごと (gallery Den mym 青い家 /京都府南山城村)
- 2011 器用貧乏 (2kw58 /大阪)  
現在地 (gallery Den mym 青い家 /京都府南山城村)
- 2009 彩りのある生活 (2kw58 /大阪)

## グループ展

- 2020 池田慎+岡本奈香子 てすらくらぶ (2kw Gallery /大津)
- 2019 京都市美術館開館記念展 (京都市美術館)  
ごちそう帖 (KUNST ARZT /京都)
- 2018 二人展RAP (スペース御蔵跡 /大阪)  
reJuvenation studio J /大阪)  
あの!しまだそう(ペイントマスター)とご存知!!中屋敷智生(トリックスター)と噂の!!!池田慎(ファンタジスタ)  
とまさかの!!!!京谷裕彰 (ロマンチスト)が奇跡の黄金比(とわのめぐりあい) (Finch Arts /京都)  
現象学的スケッチ (ギャラリー白 /大阪)
- 2017 ある視点 (art7ten /兵庫県/パリ事務所 フランス)  
オフィス高架下美術展 (アトリエ2001 /神戸)
- 2014 大ドイツ展 (studio J /大阪)
- 2013 ベルばら2001 (アトリエ2001 /神戸)
- 2012 二人展 外の部屋 池田慎×明界要介 (2kw Gallery /大阪)  
KIS おばけ屋敷 (itohen gallery /大阪)  
大イタリア展 (studio J /大阪)
- 2011 オフィス 奈良御所秋のパンまつり (奈良県御所市)